

各位

拝啓

厳冬の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、**第 14 回生殖・発生毒性学東京セミナー**を別紙の要綱で開催する運びとなりました。

本セミナーは、下記12名の実行委員が世話人として持ち回りで開催しています。今回は、(株)イナリサーチの原 洋明委員と(株)ボゾリサーチセンターの鷹野 正生委員が担当し、浅野 裕三前委員のご協力により開催します。

第 14 回セミナーは「**胎盤あるいは胎盤毒性に関連する話題**」をテーマにして下記の 6 名の先生にご発表していただきます。

【演題】胎盤の基本構造：ヒトとげっ歯類・ウサギの比較および妊娠の経過に伴う形態変化

玉井 幸子 先生 (株式会社ボゾリサーチセンター 東京研究所 第 2 研究室)

「胎盤の形態は動物種により異なるが、げっ歯類・ウサギはヒトと同様「血絨毛性胎盤」であることより、ヒト胎盤研究モデルとして適していると考えられている。今回はげっ歯類・ウサギ胎盤の基本構造について紹介する。」

【演題】ウサギ胎盤形成における EGF の関与について

原 洋明 (株式会社イナリサーチ 試験研究センター 試験管理部)

「ウサギ胎盤の EGF (Epidermal growth factor) に対する反応性及び感受性並びに作用様式を検討し、胎盤形成における EGF の生理的意義について考察したので、紹介する。」

【演題】ラット胎児へのグルコース供給における胎盤グリコーゲンおよびグルコーストランスポーター1 の関与

稲田 拓 先生 (大日本住友製薬株式会社 安全性研究所 安全性研究部)

「妊娠ラットにおける母体から胎児へのグルコース供給について、各妊娠ステージの胎盤グリコーゲンおよびグルコーストランスポーター1 発現の変動に焦点を当てて検討したので、紹介する。」

【演題】胎盤ホルモンを介した母体糖代謝系調節と胎児発育

川合 基之 先生 (シオノギ製薬株式会社 新薬研究所 安全性研究部門)

「ラットにおいて胎児発育の著しい妊娠後期に胎盤より分泌される胎盤性ラクトゲン(PL-II)の母体における糖代謝系調節機序について、膵 B 細胞に対する PL-II の生理作用を解析することにより検討したので紹介したい。」

【演題】DNA 傷害のげっ歯類胎盤への影響

山内 啓史 先生 (東京大学大学院 農学生命科学研究科 獣医病理学教室)

「様々な DNA 傷害物質がマウス・ラット胎盤に及ぼす影響について、アポトーシスと細胞増殖の変動、及びこれらが誘導される機序を中心に、当研究室で得られた知見を紹介する。」

【演題】実験動物における薬物誘発性胎盤病変

古川 賢 先生 (日産化学工業株式会社 生物科学研究所 安全性研究部 安全性評価グループ)

「胎盤は胎児・発達毒性を評価する上で重要な組織であるが、実験動物での胎盤病変に関する報告は少ない。本発表ではブスルファン、メルカプトプリン及びケトコナゾールを中心に薬物誘発性の胎盤病変について紹介する。」

セミナー終了後に懇親会を企画しています。会員相互の親睦を深めると共に情報交換の場としてご活用ください。皆様の多数のご参加をお待ちしています。

敬具

<セミナー実行委員>

原 洋明	(株)イナリサーチ	鷹野 正生	(株)ボゾリサーチセンター
堤 俊輔	大正製薬(株) 医薬研究所	北條 仁	(財)残留農薬研究所
中島 幹夫	旭化成ファーマ(株) 開発研究所	坂 芳樹	万有製薬(株) 安全性研究所
白川 誉史	アステラス製薬(株) 安全性研究所	松浦 郁夫	(株)三菱化学安全科学研究所
太田 亮	(財)食品薬品安全センター 秦野研究所	大山 直樹	田辺三菱製薬(株) 安全性研究所
下村 和裕	第一三共(株) 安全性研究所	吉田 順一	味の素(株) 医薬カンパニー

第 14 回 生殖・発生毒性学東京セミナー

日時： 2008年3月7日（金） 13:20～16:50
会場： 「独立行政法人 国立オリンピック記念青少年総合センター」
センター棟4階、416室
懇親会： カルチャーセンター棟「レストラン とき」
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1
TEL 03-3467-7201 <http://nyh.niye.go.jp>
小田急線 参宮橋駅 7分
地下鉄千代田線 代々木公園（代々木公園西門前出口）10分
会費： セミナー：1,000円（当日）
懇親会：3,000円（当日）
（セミナー・懇親会ともに、ノーネクタイのカジュアルな服装でご参加ください）

プログラム

-
- テーマ【胎盤あるいは胎盤毒性に関連する話題】
- 13:00～13:20 受け付け
- 13:20～13:30 開会のことば
鷹野 正生（株式会社ボゾリサーチセンター）
座長 鷹野 正生
1. 13:30～13:50 「胎盤の基本構造：ヒトとげっ歯類・ウサギの比較および妊娠の経過に伴う形態変化」
玉井 幸子 先生（株式会社ボゾリサーチセンター 東京研究所 第2研究室）
2. 13:50～14:20 「ウサギ胎盤形成における EGF の関与について」
原 洋明（株式会社イナリサーチ 試験研究センター 試験管理部）
3. 14:20～14:50 「ラット胎児へのグルコース供給における胎盤グリコーゲンおよびグルコーストランスポーター1の関与」
稲田 拓 先生（大日本住友製薬株式会社 安全性研究所 安全性研究部）
- 14:50～15:10 休憩
座長 原 洋明（株式会社イナリサーチ）
4. 15:10～15:40 「胎盤ホルモンを介した母体糖代謝系調節と胎児発育」
川合 基之 先生（シオノギ製薬株式会社 新薬研究所 安全性研究部門）
5. 15:40～16:10 「DNA 傷害のげっ歯類胎盤への影響」
山内 啓史 先生（東京大学大学院 農学生命科学研究科 獣医病理学教室）
6. 16:10～16:40 「実験動物における薬物誘発性胎盤病変」
古川 賢 先生（日産化学工業株式会社 生物科学研究所 安全性研究部 安全性評価グループ）
- 16:40～16:45 閉会のことば
原 洋明
- 17:00～18:30 懇親会
-

（事務局から） 職場内等で回覧、掲示をお願いします。参加希望者は、2月29日までに事務局にお知らせください（セミナー、懇親会それぞれ明記して下さい）。その際、参加者全員の氏名・所属・連絡先（住所、TEL、FAX、e-mail）をご記入ください。申し込みは e-mail 又は FAX をお願いします。なお、当日受付も行いますが、資料を配付できない場合もありますのでご了承ください。

事務局 日本バイオアッセイ研究センター

試験管理部 生殖発生試験室

奥田 裕計

〒257-0015 神奈川県秦野市平沢 2445

TEL：0463-82-3911

FAX：0463-82-3860

e-mail：h-okuda@jisha.or.jp

セミナー会場へのアクセス



※赤線は、参宮橋駅からの歩道橋を使った経路です。
青線は、参宮橋駅からの横断歩道を使った経路です。

会場：センター棟
4階、416室

懇親会場：カルチャー棟
2階、レストラン「とき」

